

# 6月の園だより



2023.6.1発行  
社会福祉法人 楡の会  
児童発達支援センター  
きらめきの里

今年も『きらめきママの』子育てサポート講座』は、クラス毎に年間6回、各クラスのお子さんやお母さん達の経験やニーズに合わせて、『好事作り』の子育ての話をさせていただきます。

ばななクラス1回目のサポート講座で、感触遊びについてのお話をしました。

昔、読んだ本に書いてあった事に感激し、それを書きとめ  
それ以来、担任時代も今も大事に考えている内容の話です。



私たちの体の表面積の中で、手が占める割合は10分の1ほど。

なのに！手と指をコントロールするために使われる大脳の領域は、3分の1以上を占めると言われています。

特に、指先には脳に繋がっている神経(細胞)が多いのです。それが、『第2の脳』と言われる理由です。

(ごめんなさい…本の題名は?)

日常生活の中にもいっぱい手指を使う場面はありますが「～させる」のではなく、感触遊びの中でお母さんやお父さんと一緒に「楽しい！」を共有しながら指先で触れる、つまむ、つぶす、伸ばす、丸める、容器に入れる、道具を使って切る etc.

オノマトペもいっぱい使い声掛けながら、楽しんで欲しいと願っています。子どもにとって、遊び=学びです！

お母さんやお父さんにたっぷり代弁してもらい、待ってもらい、認めてもらい、褒めてもらい、安心と満足感を作ってもらえる経験を積み重ねてきたおひこさんは、必ず、すくすく育ちます！健やかに成長します！

そのためにも、是非、好事作りの色々な方法を知って、利用して頂けるように願っています。



## ★★★★今月のエピソード★★★★

### 1・グングン発達する時って、言葉だけじゃない！！

同じクラスのBくんがトイレに入ってしまったのを見て追いかけたAくん。職員の促しに応じてAくんもトイレに入り、Bくんの真似をして座りました。オシッコは出なかったけれど、座れたのでOK！紙パンツもズボンも、まだはくのに時間がかかりますが、ママは声掛けながら見守り待ってから「手伝っていい？」と声掛けました。そして、Bくんを追ってホールに行こうとするAくんに「あ！これもお願ひ！」と箱の片づけが終わっていないことの注意を促し、最後は「手を洗ってから、Bくんを探しにホールに行こう！」と提案しました。ママはAくんの代弁をしつつ、否定制止の言葉を使わない声掛けをして、それに応じたAくんを必ず褒めていました。

別の日も、トイレに入ると、あれは何？これは？と周りの物が気になって集中できないAくんに、ママは代弁して付き合いながら、次の行動を意識出来るように声掛けをしていました。

通園2年目のAくんは、ママや職員の声掛けに、直ぐに注意を向けることができるようになり、自分の心に思ったことを短い言葉で表現できる様になりました！昼遊びも担任の仲介で、クラスの友だちを意識しながらホールで“ヨーイドン”の遊びを繰り返しいっぱい楽しむ事ができ「ヤッター！」とジャンプして喜ぶ姿も見せてくれるまでになりました！ママは、それが子育てに役立つ方法だと理解し、意識して努力して

“好事作り”の関わり方と声掛けを続けています。Aくんは、心も遊びも周囲の状況や人への関心もどんどん広がっています。ママの頑張り、本当に素敵です♡

### 2・わが子の育ちを感じ、喜び信じているから！！

「最近体調も良くて探索の行動が増えました！」と嬉しそうに話してくれたのは、通園3年目のCくんのママ。「今はドアを開閉するのが好きで、ホールに自分から出たがるようになって。言葉の理解も進んで(3か所に通っている)私が朝の会の歌を歌うと、その日はどこに行くのかが分かるようになって、車でわざと違う道を行くとCが私に“ちがう”と怒るんです(笑)」と。わが子の発達を理解しているからできるママの“違う道に行く”という試し！とっても素敵なママに、自分の成長を信じ見守ってもらえるCくんは、本当に幸せ～ですね♡ 田野準子

